



謹賀

強く温かいまちを目指して

笠松町長 広江 正明

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、2012年の新春を新たな気持ちで迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、平素からの町政に対する多大なるご理解およびご協力に心から感謝いたします。

さて、去年は東日本大震災により多くの方が大変辛く悲しい思いをされ、忘れることのできない年となりました。その際には被災地に対し、日本中さらには世界各国から多くの支援や励ましの言葉が寄せられ、人の温かさを改めて感じました。また、町民の皆様からも、温かい支援物資や義援金をお預かりし、被災地の皆様にお届けすることができましたことは、私どもといたしましても心温まる思いであり、皆様には深く敬意を表します。

今回のことで、災害時の迅速な対応や被害縮小のため、不測の事態に常に備えることの大切さを再認識いたしましたところであり、2012年は、防災事業にもさらに力を入れてまいり所存でございます。それに加え、引き続き「笠松町第5次総合計画」の「個性を活かし「調和」を大切にしまちづくり」という理念のもと、町民の皆様のご協力を賜

りながら各種施策を行ってまいります。自治体と町民との連携や町民同士の繋がり^{つな}りは、災害時においても、まちづくり全般においても、非常に重要です。町職員ならびに町民一人ひとりが、日ごろから人と人との繋がりを大切にし、助け合いの精神を培うことで、強く温かいまちを目指していきたいと思っております。

さらに笠松町では、おもてなしの心や道徳的な心を重視しており、「道徳のまち」として道徳教育に力を入れているところですが、今後も引き続き、町全体で社会に貢献しようとする精神を育み、道徳心やマナー、ルールを大切にする風土および人づくりに取り組んでまいります。

笠松町が、より安全・安心な希望の持てるまちとなるよう、全力を尽くす所存でございますので、これまで同様のご理解と一層のご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。